

法藏館書店ニュース 5月

目次

話題の本	P1	特集1: お寺発! 浄土真宗講義録	P16~17
法藏館新刊案内	P2~4	特集2: 辞典特集	P18
法藏館重版案内	P4~5	お知らせ	P19
法藏館刊行予定案内	P5~6	法藏館書店ベスト10・メール配信サービスご案内	P20
法藏館書店新着案内	P6~15		

★お知らせ★ 5、6月の書店休業日

5月のお休み: 2日・9日・16日・23日・30日

※ゴールデンウィーク期間中の店舗営業時間はホームページにてご確認ください。

6月のお休み: 6日・13日・20日・27日

話題の本

●週刊読書人(2021/4/16掲載)、●大分合同新聞[朝刊](2021/4/4掲載)

『西遊詩巻—頼山陽の九州漫遊』

谷口 匡著・四六判・284頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-7736-9



●宮崎日日新聞(2021/4/14掲載)

『競馬にみる日本文化』

石川 肇著・A5判・160頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-6265-5



●中外日報(2021/4/9掲載)

『近世の天台宗と延暦寺』

藤田和敏著・四六判・250頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-7742-0



●河北新報[朝刊]、●山陽新聞[朝刊](2021/4/4掲載)

●中外日報(2021/3/19掲載)

法藏館文庫 『悟りと解脱—宗教と科学の真理について』

玉城康四郎著、丘山 新解説・文庫判・256頁・1,100円・ISBN:978-4-8318-2619-0



●日本思想史学会会報 第37号(2021/3/29掲載)

『「ぞめき」の時空間と如来教』

—近世後期の救済論的転回—

石原 和著・A5判・370頁・4,950円・ISBN:978-4-8318-6264-8



法蔵館文庫 第10弾!

◆〈方法〉としての思想史

法蔵館文庫

【思想史】

安丸良夫著、谷川 穰解説・文庫判・368頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2622-0

安丸史学が対峙し、目指したものは。自身の研究を回顧・省察した論考を中心に収め、その思想的格闘の軌跡を示す歴史学徒必読の書。

■目次

第Ⅰ部 方法への模索

- 一 日本マルクス主義と歴史学
- 二 方法規定としての思想史
- 三 『明治精神史』の構想力
- 四 「民衆思想史」の立場
- 五 思想史研究の立場—方法論的検討をかねて—

試し読み



ほか



◆ポストモダンの新宗教

法蔵館文庫

【宗教学】

——現代日本の精神状況の底流

島薺 進著・文庫判・352頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2621-3

1970年代以降に誕生・発展した「新新宗教」の特徴を解説し、「新新宗教」を日本・世界の宗教状況とリンクさせることで、現代宗教論に一つの展望を与えた画期的労作。

■目次

- 序 章 新新宗教とポストモダン
- 第一部 宗教運動の変容
- 第二部 ナショナリズムの興隆
- 第三部 モダンへの対抗
- 終 章 現代宗教と悪

試し読み



◆新装版 親鸞の人生観——教行信証真仏弟子章【仏教／真宗】

金子大榮著・四六判・251頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-6577-9

親鸞の著『教行信証』信巻 真仏弟子章の講話。難解な仏典引用を解き明かし、親鸞思想を読み解く名著が約50年振りに新装版として復刊。

■目次

- | | | |
|---------|----------|----|
| 一 総説 | 六 勝れた功德 | |
| 二 身心柔軟 | 七 説聴の方軌 | |
| 三 涅槃の智慧 | 八 大悲の受施 | |
| 四 苦悩と安楽 | 九 法王の臣民 | |
| 五 師弟と善友 | 一〇 身心の教養 | ほか |

試し読み



◆吉田久一とその時代

【仏教史／社会事業史／近現代】

——仏教史と社会事業史の探求

大谷栄一、大友昌子、永岡正己、長谷川匡俊、林 淳編・A5判・552頁・5,500円
ISBN:978-4-8318-5563-3

近代仏教史と社会事業史／仏教社会福祉史の確立者・
吉田久一の学問を読み直し、今後の研究に不可欠な視座
を提供する画期的学術論集。

■目次

- | | |
|------------------|-------------------|
| I 「吉田久一」とは誰か？ | IV 福祉と宗教の交わりを探求する |
| II 吉田史学を捉え直す | V 吉田史学を超えて |
| III 吉田社会福祉論を再考する | |

■執筆者一覧

池田智文／石井洗二／石川到覚／今井小の実／岩崎晋也／宇都
榮子／江連崇／碧海寿広／繁田真爾／清水海隆／下重暁子／宮
城直子／宮城洋一郎／元村智明 (50音順)

試し読み



◆仏教美術史展望——内田啓一論集

【美術史】

内田啓一著・A5判・561頁・7,700円・ISBN:978-4-8318-6329-4

著者の広大な知的関心と学問的構想に基づく論稿の中から
仏教美術史に関する十六編を厳選して収録、新たな美術
史画像を構築する一冊。

■目次

- | | |
|-----|--------------|
| 第一部 | 仏教美術史を俯瞰する |
| 第二部 | 東アジアを伝播する図像 |
| 第三部 | 後醍醐の王権と文観の造形 |
| 第四部 | 祖師の姿と本尊の霊験 |
| 第五部 | 密教図像の宇宙 |

試し読み



◆清水寺 成就院日記 第六巻

【日本史】

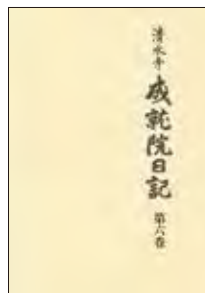
清水寺史編纂委員会編・A5判・396頁・9,900円
ISBN:978-4-8318-5156-7

京都・清水寺の門前町の行政を記録した江戸時代の公用
日記。第六巻は寛延元(延享五)年十月～寛延四(宝暦元)
年を収録。

■目次

- | | | |
|-----|-------|-----------------|
| 四十三 | 成就院日記 | 寛延元(延享五)年十月～十二月 |
| 四十四 | 成就院日記 | 寛延二年正月～四月 |
| 四十五 | 成就院日記 | 寛延二年五月～十二月 |
| 四十六 | 成就院日記 | 寛延三年正月～六月 |
| 四十七 | 成就院日記 | 寛延三年七月～十二月 ほか |

試し読み



◆仏教と日本Ⅱ [日本佛教学会叢書]

【仏教】

日本佛教学会編・A5判・432頁・7,700円・ISBN:978-4-8318-7730-7

日本における仏教は、神祇信仰やキリスト教等の文化・思想との交流の中で、日本的な特性を醸成してきた。その独自性を追究した論集。

■目次

正像末史観の受容と太子信仰の深化……織田顕祐
井上円了における科学の世界と仏教の世界……伊藤 真
『釋淨土群疑論』の日本における受容の形体……村上真瑞
日本仏教と「顕道無異」の思想……奥野光賢
親鸞における漢文訓読の特性
——現生正定聚思想の成立を中心として……前田壽雄 ほか



◆いのちの浄土——中村薫遺稿集

【仏教／真宗】

中村 薫著・四六判・192頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-8789-4

150日間の入院という大病を経て見出した境地、「生かされて生きる身の幸せ」を語る。亡くなる前年までの講演四篇を収めた遺稿集。

■目次

金子みずとお念仏
『華嚴経』と『大無量寿経』
如来の作願をたずぬれば
生老病死 ほか



法蔵館重版案内

◆近世仏教論

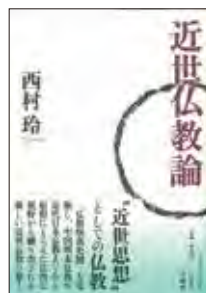
2刷 【思想史／近世】

西村 玲著・A5判・420頁・5,280円・ISBN:978-4-8318-6247-1

時代や国境といった枠組みを超越した広い視野から、新たな近世仏教の姿を描いた論考16篇を収録。類書の少ない近世仏教思想を扱った、今後の近世思想史研究に必備の1冊。

■目次

第Ⅰ部 近世仏教の展開
第Ⅱ部 明末仏教と江戸仏教
第Ⅲ部 キリシタンと仏教
第Ⅳ部 教学の進展
第Ⅴ部 伝統から近代へ ほか



◆六朝隋唐仏教展開史

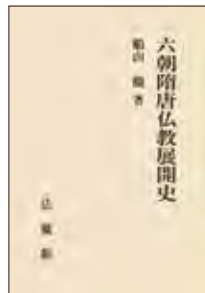
2刷 【中国仏教／歴史】

船山 徹著・A5判・552頁・8,800円
ISBN:978-4-8318-7724-6

中国仏教の基盤が整備された六朝隋唐期の仏教史をインド仏教との関わりから捉え、中国仏教の新展開とは何であったかを明らかにする。

■目次

- 第一篇 仏典解釈の基盤
- 第二篇 修行を説く文献・体系的修行論・修行成果
- 第三篇 修行と信仰 ほか



◆和訳 正信偈

6刷 【真宗】

真宗教団連合編・A6判・137頁・385円・ISBN:978-4-8318-9236-2

大谷派経典。待望の復刊。真宗十派が声を合わせて唱和できるよう共通の節符・五線譜付。ワイド(18.2cm×12.8cm)になり、より読み易くなりました。

■目次

- | | |
|-----------|--------|
| 正信偈 | 真宗教歌 |
| 念仏(六返) | 恩徳讃 収録 |
| 和讃(六首) | |
| 回向(願以此功德) | |
| 選定和讃 | |



法蔵館刊行予定案内

〈2021年6月 刊行予定〉

【真宗／仏教】

◆ひとりふたり・・・——お盆を迎える

四衢 亮著・A5判・24頁・136円・ISBN:978-4-8318-1159-7

身近なことから真宗の教えにふれる聞法誌。人気連載多数で、わかりやすく面白、参考になる、気軽に読める、と好評です！

◆チベット仏教の世界

【仏教】

永沢 哲編著・A5判・896頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-6390-4

チベット仏教の現在の姿を、顕教と密教を縦軸に、思想、修行、社会的展開を横軸に、最新の学術研究の成果と具体的事例を凝縮し紹介。

◆伝教大師 最澄

【仏教】

久保良峻著・四六判・306頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-7744-4

没後1200年、最澄の生涯や思想、徳一との論争や諸著作、そして没後に活躍した主要人物をバランスよく紹介し、新知見を示す本格的人物伝。

◆全訳 六度集経—— 仏の前世物語

【密教】

六度集経研究会著・四六判・710頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-7445-1

仏の前世物語(本生譚)を集成し、中国・日本の小説や説話文学に影響を与えてきた『六度集経』の本邦初の全訳。各巻末に関連コラムを収載する。

◆寺院内外伝承差の原理

【説話／日本文学史】

—— 縁起通史の試みから

中前正志著・A5判・546頁・4,400円・ISBN:978-4-8318-7722-2

西国三十三所札所諸寺の開創期より近現代に至る各種の縁起を分析して史的展開を跡づけ、寺院発の伝承の変遷に法則性を読み取る。

法 藏 館 書 店 新 着 案 内

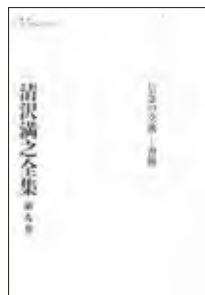
岩波オンデマンドブックス

◆清沢満之全集 第九卷

—— 信念の交流——書簡

小川一乗編者代表・A5判・542頁・12,100円 〈岩波書店〉

明治21年(1888)から、清沢が死去する36年までの16年間にわたる書簡、306通を収録する。書簡の多くには、清沢の「如来を信ずる」という信念が力強く綴られている。「年譜」「著述目録」を併収する。



真宗新書

◆正信偈に学ぶ—— 親鸞聖人からの贈り物

狐野秀存著・新書判・257頁・858円 〈東本願寺出版〉

浄土真宗で最も読み親しまれ、本願の教えを伝える親鸞聖人の偈(うた)「正信偈」。混沌の現代(いま)を生きる私たちに届けられた、阿弥陀如来の本願「えらばず、きらわず、見すてず」の心とは? 著者自身のさまざまな人との出会い、先師の言葉を交えつつ「正信偈」全百二十句のあじわいを丁寧につづる。



真宗文庫

◆親鸞の「いのちの歌」 正信偈入門

古田和弘著・文庫判・429頁・1,320円

〈東本願寺出版〉

浄土真宗の教えのエッセンスが詰まった親鸞聖人の偈(うた)「正信偈」。その全百二十句を書き下し・著者意識とともに易しく読み解き、言葉の意味と「こころ」にふれる。はじめて「正信偈」の内容を学ぼうとする方に、まず手に取っていただきたい一冊。

※本書は、東本願寺出版発行の『正信偈の教え』全3巻をまとめ、文庫化したものです。

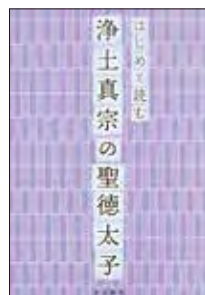


◆はじめて読む浄土真宗の聖徳太子

東館紹見監修、真宗大谷派教学研究所編
B6判・95頁・385円

〈東本願寺出版〉

宗祖親鸞聖人が父母と慕い、和国の教主と仰いだ聖徳太子とは、いったいどのような人物なのか。聖徳太子1400回忌を迎えるいま、日本史上もっとも有名な偉人である一方その存在さえも議論的とされてきた太子について、現代に伝わるさまざまな事績をたどり、その上で親鸞聖人が出遇った太子、そして浄土真宗のなかで伝えられてきた太子像をたずねる一冊。



伝道ブックス83

◆南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

楠 信生著・新書判・69頁・275円

〈東本願寺出版〉

2023年に「宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」を迎えるにあたり、慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」に込められた願いを丁寧に紐解き、尋ねる。



◆帰り道で話そうよ

——マンガで味わうブツダの教え

織田顕祐監修、花園一実原案、木村二三夫・富原隆明画
A5判・119頁・880円

〈東本願寺出版〉

お経の中には、実は、私たちの生活にとっても身近な話がたくさん。本書では、そんなお経のたとえ話(25話)を、小学3年生の吉野果奈ちゃんと、近所のお寺の住職・平江相海さんのやりとりを通して「マンガ」で紹介! あわただしい行き道では見落としていたことも、帰り道には気づくこともある……。



◆いつでも歎異抄

井上見淳意訳、一ノ瀬かおる画・B5判・99頁・770円〈本願寺出版社〉

『歎異抄』の世界にすっぽり包まれる、新感覚の一冊。
いつでもどこでも、ページを開くとそこには『歎異抄』の世界が広がります。苦悩する現代の若者に向け、思い切った現代語訳とユニークなイラストで綴る、仏教入門書。



◆浄土真宗本願寺派 僧侶教本B

僧侶養成部・浄土真宗本願寺派総合研究所編
B5判・149頁・2,640円 〈本願寺出版社〉

浄土真宗本願寺派の教師教修必修テキスト。
本願寺派の教師をめざす方をはじめ僧侶に向けて、必要な知識・技能を習得するための教本。
浄土真宗の教義、歴史などに加え、勤式作法や法話の実演について体系的にまとめられている。



◆法話CD 慈光の中に④ 大いなる願いのなかの私

東井義雄法話・CD-R・2,200円 〈市原栄光堂〉

私たちの存在は広い世界から見れば、誠にちっぽけであります。だからこそ阿弥陀如来の大悲を喜ぶことができます。
そんな自分に気づくことができるお話です。



◆横超楽園—— 第一衆会「日本の近代化と信教の自由」 第二衆会「日本の近代化と国家(人々)の行方」 ◆横超楽園続—— 第三衆会「日本の近代化と浄土の喪失」

長田浩昭講述・A5判 〈横超楽園実行委員会〉
第一衆会 60頁・449円／第二衆会、第三衆会 106頁・1,000円

真宗大谷派長浜教区五村別院・長浜別院の宗祖親鸞聖人750回御遠忌お待ち受け助成事業「ごえんきごきげんワークショップ」の冊子化。

第一衆会:2018年11月25日開園した隆法寺における講義を中心まとめたもの。第二衆会:2019年3月24日開園した西徳寺及び、第三衆会:2019年6月30日に開園した量泉寺における講義を中心まとめたもの。



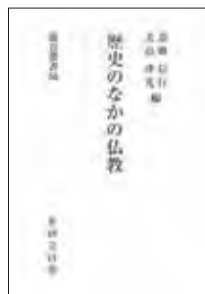
龍谷叢書56

◆歴史のなかの仏教

斎藤信行、北畠浄光編・A5判・332頁・5,500円 〈永田文昌堂〉

■目次

- I 日本浄土教史における源信の位置(北畠浄光)
親鸞の信仰と教団形成(斎藤信行)
親鸞の信と自然法爾
——回向によって成立する慈悲実践主体(宇治和貴) ほか



◆親鸞教學 113

大谷大学真宗学会編・A5判・111頁・1,100円 〈文栄堂〉

■目次

- 現生正定聚と浄土の慈悲(二)——重なり合う「証」……井上尚実
「宿業」の思想的意義についての一考察……藤元雅文
清沢満之手沢本『ティーチング、オブ、エピクテタス』の書入れに関する一考察
——安藤州一の言葉を導きとして……川口淳
衆生に自覚を開く名と相——願生論(十八)……安田理深
大乘仏教の歩み——親鸞の眼を通して——龍樹①……木越 康



◆佛教學セミナー 第111、112号

大谷大学佛教学会編・A5判・各1,100円 〈文栄堂〉

111号(158頁)

■目次

- 論文 ブッダとナーガールジュナの中道思想……山本和彦
公開講演 インド後期仏教石窟と中期密教——『大日経』と胎藏曼荼羅の
成立地及び時期について……定金計次 ほか

112号(132頁)

■目次

- 論文 スティラマティ『五蘊論註』翻訳研究(一)……箕浦暁雄
最澄における天台修学期の再検討……英 亮
最終講義 『華嚴経』『涅槃経』と佐々木月樵……織田頭祐 ほか



◆仏教哲学序説

護山真也著・四六判・267頁・2,640円 〈ぶねうま舎〉

真の實在に至る道はどこにあるのか。自己の本質に出会えるのか。仏教の長い歩みに蓄積された思考の方法と西洋出自の発想とを、近年の現象学や心の哲学の動向をも踏まえて擦り合わせる、インド仏教の認識論に関する入門書。



NHK宗教の時間

◆道元『正法眼蔵』をよむ ①

角田泰隆著・A5判・164頁・1,045円

〈NHK出版〉

道元が、「正法の仏法を明らかにしたい」との思いで著した『正法眼蔵』。講師は、道元とその著作研究の第一人者・角田泰隆駒澤大学教授。読者を正法と禅の世界に誘います。道元の果たした宗教的な足跡と、『正法眼蔵』成立の経緯とその目的を示します。



岩波文庫 青323-7

◆禅の思想

鈴木大拙著・文庫判・365頁・1,067円

〈岩波書店〉

大拙本人が、自身の代表作とした著作。戦時下の緊迫した状況下で書かれた。禅を「思想」、「行為」、「問答」の三テーマに分けて、禅の古典籍を引用しながら、言葉を超えた禅思想の在り処を言葉によって縦横に説き示す。今回初めて、通読を容易にすべく引用漢文に訓読文を大幅に追加注記した。（解説＝横田南嶺・解題＝小川 隆）



NHKこころの時代

◆瞑想でたどる仏教——心と身体を観察する

養輪顕量著・A5判・156頁・1,045円

〈NHK出版〉

マインドフルネスをはじめ世界中で流行する「瞑想」。その源流にはブッダがおこなった「心と身体を観察」があった。そこから2500年、仏教はブッダの瞑想をどのように受容・発展させてきたのか。縁起、止観、空、念仏——瞑想を通して各時代ごとの歴史的なつながりを押さえれば、その言葉の意味が驚くほど理解できる。仏教が受け継いできた「自分の心と向き合う方法」を、仏教思想の第一人者とともに探る。



◆鑑真と唐招提寺の研究

眞田尊光著・A5判・272頁・12,100円

〈吉川弘文館〉

日本に戒律を伝えるため、幾多の困難をのり越えて唐より渡来した鑑真と弟子たち。彼らが造立した唐招提寺伝存の木彫像や金堂三像の意義・目的、弟子たちの活動の様相などを『唐大和上東征伝』をはじめ関連史料から検討する。渡来後の鑑真一行の活動や唐招提寺について基礎的な事実を究明し、鑑真がもたらした授戒と美術の様相に迫る貴重な研究。



◆正倉院文書からたどる言葉の世界

中川ゆかり著・A5判・365頁・12,100円

〈塙書房〉

正倉院文書のなかの言葉や表現を詳細に検討し、奈良時代に生きた下級官人や僧侶たちの言語生活から日本語書記のあり方の基底を考察し、当時の人々の現実の姿にも迫る。



◆「敦煌」と日本人

——シルクロードにたどる戦後の日中関係

榎本泰子著・四六判・324頁・2,090円

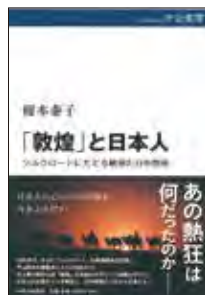
〈中央公論新社〉

1980年代にわき起こった空前のシルクロードブーム。

日本人が大陸に寄せたロマンとは何か。

あの熱狂はなぜ生まれ、なぜ消えたのか。

日本人の心の中の中国をあぶりだし、日中関係のこれからを考える。



東哲叢書 仏典現代語訳シリーズⅦ

◆現代語訳 顕戒論

最澄撰・前川健一訳注・A5判・375頁・4,400円〈東洋哲学研究所〉

大乘戒による出家制度の確立を求める自己の主張を明確にし、当時の仏教界からの反論を批判するために、最澄（伝教大師）が著した「顕戒論」を現代語訳。詳細な訳注と解題も収める。



構築された仏教思想9

◆ツォンカパ

——悟りへの道——三乗から真の一乗へ

松本峰哲著・B6判・233頁・1,870円

〈佼成出版社〉

仏教を、本来の釈尊によって説かれた悟りへの一本道へと再構築したツォンカパ。現在も世界中で信仰を集めるチベット仏教の基礎を作った「仏教中興の祖」ツォンカパの生涯を辿ると共に、彼の構築した仏教教義を伝える。



◆全訳 チャンドラキールティ 中観五蘊論

横山 剛訳・A5判・274頁・6,710円

〈起心書房〉

『中論』注釈者として名高いチャンドラキールティが、部派仏教の「アビダルマ(存在の分析)」を「五蘊」を中心に要約しつつ、自身の「空の思想」からコメントを加えた『中観五蘊論』。

本書は、そのチベット訳に基づきつつ、回収可能なサンスクリット原文とその和訳を注記した、初めての全訳。中観派に受容された「仏教の基礎学」としてのアビダルマの全貌を提示する。



思想としてのインド仏教

◆内在する仏 如来蔵

鈴木隆泰著・四六判・236頁・2,420円

〈春秋社〉

すべての人に成仏の可能性を認める如来蔵思想はインドでどのように生まれ、いかなる問題をはらみつつ展開していったかを、最新の研究成果を踏まえ、わかりやすく解説。

東アジア仏教にも大きな影響を与えた如来蔵思想を一般向けに解説した初めての本。



◆新装版 インド宇宙論大全

定方 晟著・A5判・426頁・3,850円

〈春秋社〉

メール山を中心に展開するインド独自の宇宙観を、バラモン教等の正統派、仏教、ジャイナ教の三つの宗教から、多数の図版と写真を交えて語るユニークなインドコスモロジー。



◆チベット密教儀礼の研究

—— 文献と現地調査による解明

北村太道著・A5判・578頁・13,860円

〈起心書房〉

インド密教の原型を今に伝える、チベットの密教儀礼。本書は、現地での修法の調査と、その典拠となる儀軌の和訳により、マンドラ地儀軌・灌頂・護摩などの基本儀礼と密教法具を中心に、その全貌を解明した、わが国で初めての研究書。チベット密教各派の儀礼の「生きた姿」を示した、貴重な記録である。図版多数。



◆チベット仏教求法僧 のう み ゆたか う だい いっ どう 能海寛と宇内一統宗教 —— 明治の国粋とグローバリズム

浅川滋男編・A5判・375頁・4,180円

〈同成社〉

日本で初めてチベット潜入に挑んだ僧侶、能海寛。
能海唯一の著作『世界に於ける仏教徒』全篇の口語訳を通して、明治という時代の本質が浮かび上がる。
宗教の過去・現在・未来をグローバルに見通す野心作。



◆暮らしのなかの〈いのち〉論

田代俊孝著・四六判・79頁・990円

〈方丈堂出版〉

著者は真宗学(親鸞の仏教学)を主として学んできたが、その展開・応用研究として、死生学、ビハーラ、生命倫理学など、いわゆる「いのち」学を提唱してきた。暮らしのなかで身近なことを通して、本書は「いのち」を考えるきっかけとなるであろう。



◆仏教福祉の考察と未来 —— 仏教の死生観

長谷川匡俊著・四六判・246頁・2,640円

〈国書刊行会〉

仏教の基本理念に照らして、人間の尊厳性、自立、生命尊重などの本質に迫る。ほか、仏教に基づく社会福祉実践思想に関する論考、「生死一如」を説く仏教にふさわしい福祉の実践に関する論考や対談を収録する。



近代日本宗教史5

◆敗戦から高度成長へ —— 敗戦～昭和中期

島藺 進・末木文美士・大谷栄一・西村 明編
A5判・281頁・3,630円

〈春秋社〉

太平洋戦争の敗戦を経て、再出発を余儀なくされる日本。GHQの占領政策はその後の日本にどう影響したのか。そして、奇跡的な経済成長と都市化のなかで、宗教はどの位置を占めたのか。生長の家や創価学会など、現在に繋がる新宗教の伸張とその政治的影響とは。



シリーズ宗教学再考8

◆宗教の意味と終極

ウィルフレッド・キャントウェル・スミス 著、保呂篤彦・山田庄太郎訳
A5判・521頁・6,820円 〈国書刊行会〉

宗教学という枠組を21世紀の今再考する画期的な一大叢書。
8は、諸宗教の共存の未来へ新たなパラダイムを提起する、ウィ
ルフレッド・キャントウェル・スミス「宗教の意味と終極」を収録す
る。解題・解説も掲載。



◆近世日本の災害と宗教

——呪術・終末・慰霊・象徴

朴 炳道著・A5判・330頁・13,200円 〈吉川弘文館〉

近世社会を生きた人々は、地震・飢饉・大火や疫病といった
災害に対し、どのように対処してきたのか。呪術・終末・慰霊・
象徴をキーワードに、「災害見聞記」や「災害供養塔」、「鯰絵」
「はしか絵」「コレラ絵」などを資料とし、災害における人々の認
識と実践を追究する。宗教学の視点から、生存の危機や対
処の過程を「災害文化」として体系的に捉え直す。



ちくま新書1556

◆養老孟司入門

——脳・からだ・ヒトを解剖する

布施英利著・新書判・301頁・1,012円 〈筑摩書房〉

「脳」「からだ(人体)」「ヒト」をめぐって「生きたとはどういうこと
か」を問い続けてきた養老孟司。その代表的著作を東大解剖
学教室の愛弟子が読みなおし、数々の至言と共に各著作が
書かれた当時のエピソードを交えて語る。
一冊でわかる、養老孟司のすべて!



◆日本の仏像とお寺の謎100

かみゆ歴史編集部編・B6判・207頁・748円 〈イースト・プレス〉

お寺と神社の違いは? インドの神様が構成される仏様とは?
人気の町「目黒」は不動明王が由来だった? ……など、素朴
な疑問と意外なエピソード、そして仏像の種類や造形などをビ
ジュアルや図解で紹介、お寺と仏像がもっと身近になる一冊!



◆仏教における観法

遠藤祐純著・四六判・212頁・3,300円

〈ノンブル社〉

第Ⅰ部では、第五回、第六回結集の地ミャンマーとタイで修した内観禅の体験と智を留学中の記録ノートから書き起こす。さらに第Ⅱ部では、釈尊が菩提樹下に行じた禅観を軸に、密教における観法をインドの諸学匠、空海、覚鑠等の阿字観によって解き明かす。



法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 5月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

「仏教がみちびく、あらたな人生」をコンセプトに、生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

◎インタビュー 石井正則さん(俳優)

ハンセン病療養所に堆積した`場所の記憶'と向き合う。

◎特集 コロナ時代の家族と子育て

・小林聡美のぼちぼちは好日

・東本願寺界限 今昔物語……「京とうふ 並河商店」 ほか



◆大乘 5月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。研修会や勉強会にも最適、門徒推進員の方にもおすすめです。

■目次

・いのちのえほん「まもられているいのちとお念仏」

……ながかわあきら×ひじみえ

・マンガ お釈迦さま物語……岡橋徹栄×一ノ瀬かおる

・親鸞聖人いまさは「いのちを拓くみ教え」……巖后顯範

・お坊さんのいる病院「祈りの空」……花岡尚樹 ほか



特集1

お寺発!

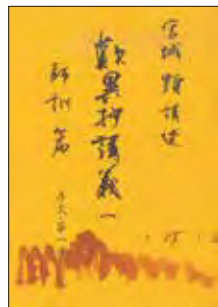
浄土真宗講義録

◆歎異抄講義 1～12 (5は品切れ)

宮城 顓講述・A5判・平均190頁

1～4・6～10各1,320円、11～12各1,650円(歎異抄講義刊行会)

真宗大谷派四国教区阿波組の主催による、1992年10月から2005年10月までの宮城顓師による『歎異抄』講義50講を収録。



◆ただ念仏のみぞ

——『歎異抄』にまなぶ

藤元正樹著・A5判・270頁・3,300円(雲集冬の聞法会)

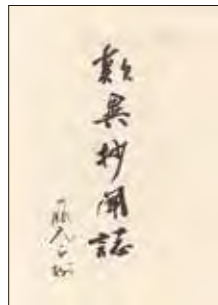
真宗仏光寺派東京別院西徳寺の寺報『えこお』1986年2月号から1996年3月号にかけて連載された、藤元正樹師の『歎異抄』講義をまとめたもの。序分から第1章～第12章までを収録。



◆歎異抄聞誌

藤元正樹著・A5判・470頁・7,150円(藤元正樹刊行会)

たつみ市・圓妙寺にて1976年9月から1996年1月にかけて行われた講義の事前の思索ノートから、第13章～第18章・後序までを収録。



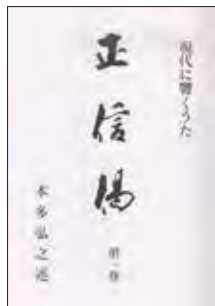
お寺の本格的な出版活動としては近年の「サンガ伝道叢書」などが知られていますが、この他にも各地のお寺などで開催された勉強会の講義をまとめたものが草の根的に作られています。今回は一般書店では手に入らないこうした書籍から、主なものをご紹介します。

◆現代に響くうた 正信偈

第1巻～第9巻

本多弘之述・A5判・平均250頁・各1,650円(聖典学習会)

四日市市・正福寺の「聖典学習会」にて1997年2月から2001年6月にかけて行われた、本多弘之師による「正信偈」講義26講を収録。

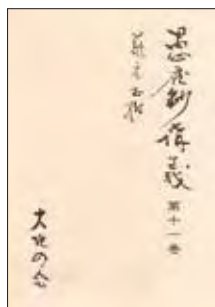


◆愚禿鈔講義 (第1・2・8巻は品切れ)

第3巻～第7巻・第9巻～第11巻

藤元正樹著・A5判・平均440頁・各4,950円(大地の会)

宮城顓師の自坊・本福寺および藤元正樹師の自坊・圓徳寺にて1979年1月から1998年11月まで行われた、『愚禿鈔』全129講の講義録。巻末に論文集「教団論の復権」を収載。



◆愚禿鈔講義録 (第11・12巻は品切れ)

第1巻～第10巻・第13巻～第22巻

宗 正元講述・A5判・平均220頁・各2,200円(雲集学舎)

台東区向島の聞法道場「行人舎」にて1988年9月から2003年11月まで行われた、宗正元師による『愚禿鈔』下巻全111講の講義録。



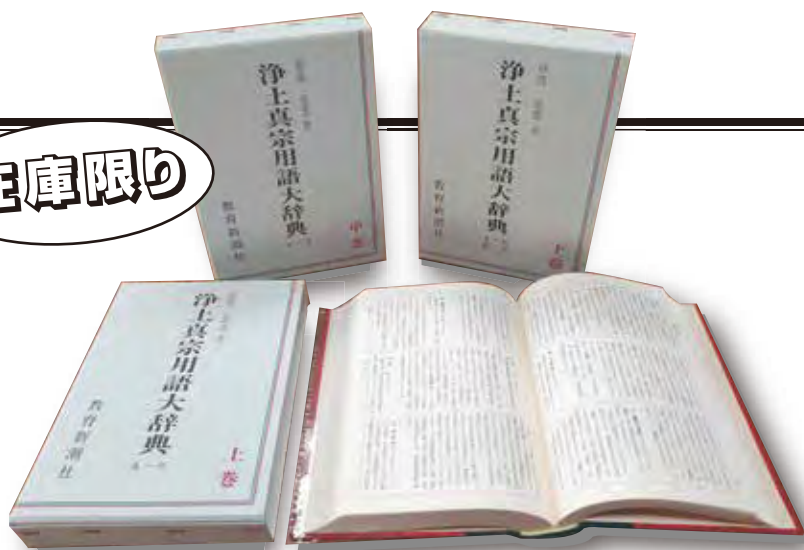
特集2

辞典特集

五月は本格的に学びが始まる季節。

法藏館書店がおすすめする、学びに欠かせない辞典を紹介します。

在庫限り



1 浄土真宗用語大辞典

稲城選恵著

3巻(上・中・下)セット 55,000円〈教育新潮社〉

在庫限りとなりますので、購入を検討されている方は、お早めにお買い求めください。

2 総合 佛教大辞典 全1巻

30,800円〈法藏館〉 ※7070-4

仏教のすべてを網羅した本格的仏教大辞典。全仏教圏・各時代にわたる一万二千余項目を収録。

3 新版 仏教学辞典

6,160円〈法藏館〉 ※7009-4

『佛教学辞典』を新訂増補。精選された約2700項目。和文・欧文索引は約1万5千語を採録。

4 浄土真宗辞典

3,850円〈本願寺出版社〉

調べたい浄土真宗の教義・歴史・儀礼がすぐわかり、『浄土真宗聖典(注釈版)』の語句を詳しく解説した総合的辞典。

5 新装版 真宗小事典

1,980円〈法藏館〉 ※7067-4

浄土真宗の教義・思想・歴史・仏事の基本用語をわかりやすく解説したハンディな小事典。

※=978-4-8318-

お知らせ

中外日報「宗教文化講座」

法藏館書店 協賛

テーマ：「法華經の行者に学ぶ——日蓮聖人生誕800年記念」

第2回 リモート可 5月15日(土)「日本仏教における法華信仰の変遷」

〈池上本門寺「朗峰会館」(東急池上線池上駅から徒歩15分)・定員150〉

東京大学 人文社会系研究科教授 蓑輪顕量氏

第3回 リモート可 9月11日(土)「戦国仏教と京都——法華宗・日蓮宗を中心に」

〈京都府民総合交流プラザ 京都テルサ(近鉄東寺駅から東へ徒歩5分)・定員168〉

奈良大学 文学部教授 河内将芳氏

第4回 リモート無 10月9日(土)「日蓮主義とはなんだったのか」

〈京都新聞文化ホール(地下鉄烏丸線丸太町駅7番出口すぐ)・定員120〉

佛教大学 社会学部教授 大谷栄一氏

※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社営業企画部

〒601-8004 京都府京都市南区東九条東山王町9番地

TEL: 075-682-1625 FAX: 075-682-1722

Eメール: shuppan@chugainippoh.co.jp

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)、リモート参加も同額

※リモート参加(Zoom)のお申し込みは、中外日報社上記のメールアドレスに「リモート参加」と明記の上、希望する講座、氏名、住所、メールアドレスをお知らせください。

※2020年の講座の受講票をお持ちの方は、そのままお使いいただけます。

今月の在庫僅少

別巻Ⅰ・Ⅱの発売とともに、長らく品切れだった

『清沢満之全集』全9巻がオンデマンド復刊されましたが、

第三巻・第四巻のみ旧版の店頭在庫がございます！

各1点のみですので、やっぱり函入りのものが欲しい
という方はお急ぎください。

清沢満之全集 各5,280円(岩波書店)

第三巻——哲学論集 A5判・378頁

第四巻——哲学史研究 A5判・384頁



(店頭品のため傷みや汚れなどがございます。あらかじめご了承の上お買い求めください)

◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(4月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	溶け合う世界へ——南無阿弥陀仏のすくい2	瓜生 崇	響流書房	110円
2	南無阿弥陀仏のすくい	瓜生 崇	響流書房	110円
3	親鸞の出遇った世界 浄土真宗 I【教行信証化身土巻講義】	平野 修述	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円
4	歎異抄 救いのことば【文春新書1283】	釈 徹宗	文藝春秋	1,045円
5	七高僧と親鸞	鎌田宗雲	永田文昌堂	990円
6	親鸞聖人の自筆にふれる正信念佛偈	東本願寺出版	東本願寺出版	1,100円
7	法話のきほん	伊東恵深	法藏館	1,430円
8	いつでも歎異抄	井上見淳意訳 —ノ瀬かおる画	本願寺出版社	770円
9	第50回鸞音忌記念法話集 浄土得生の正信	曾我量深	順照寺	1,000円
10	『往生要集』入門【筑摩選書204】——人間の悲惨と絶望を超える道	阿満利磨	筑摩書房	1,760円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<http://www.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料——450円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。



おかげさまで410年を迎えることになりました。
仏教風土の都・京都に育てられた、わたしたち。
そよ風が花の香りを伝えるように、これからも、
仏教文化を伝える風でありたいと思います。

法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入

電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458

発行人: 西村明高

E-mail: shop@hozokan.co.jp

[営業日および営業時間]

月～土: 9:30～18:00

祝 日: 10:30～18:00

(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

<http://www.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



仏教書総目録刊行会 <http://www.bukkyosyo.gr.jp>

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!

twitter facebook

つぶやき中～!

